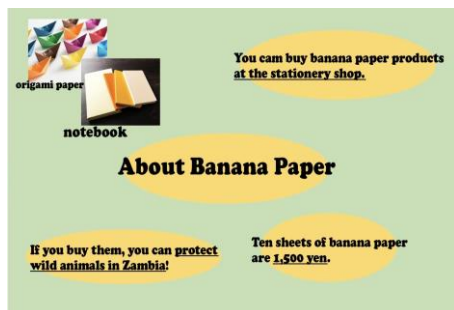




ポスター例1



ポスター例2

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

表現・制作

家庭学習

協働学習

発表や話し合い

協働での意見整理

活用した機器等

Chromebook

活用したアプリ等

Google Classroom
Google Jamboard
Google スプレッドシート
Mentimeter

学習のねらい

「バナナペーパー」の販売を促進するための視覚資料を作成するとともに、教科書で学んだ事柄を活用して発表することができる。

学習の流れ

導入 プレゼンテーションの方法と評価の観点を確認したうえで、教科書で学んだ「バナナペーパー」について、自分たちで調べた内容をもとに販売促進のためのポスターを作成する。

展開 各自で作成したチラシを用いてグループ単位で発表を行うとともに、他の生徒の発表に対する評価をGoogle スプレッドシートに記入する。

まとめ ベストプレゼンターの投票を行う。
最後に、資料作成や発表における注意点を確認し、学んだ内容を振り返る。

ココでICTを活用!

調べ学習をしたり、ポスターを作成したりするためにChromebookを活用した。生徒一人ひとりが必要な情報や資料を集め、Google Jamboardで作成したポスターや発表原稿をGoogle Classroomで提出させるようにした。
グループ単位での発表については、Jamboardのポスターをプロジェクターで投影し、聴衆は良かった点や改善点をスプレッドシートに記入するようにした。
発表終了後、Mentimeterというブラウザ上のプレゼンテーションアプリを用いて、リアルタイム表示によるベストプレゼンターの投票を行い、相互評価をした。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

Jamboardを活用してポスター作成を行うことで、自分のデバイスから作業ができた。また、紙のポスターと違い、学校に集まるという制約がなくなったことで、場所や時間に関係なく各自が学習に取り組んだようであった。

Google Classroomで課題の作成、共有及び提出を行うことができた。生徒ごとにオリジナリティーがあり、課題を互いに共有することで発表内容を深めることができた。

また、ベストプレゼンターの選出に用いたMentimeterは、自分のデバイスから回答を入力し、リアルタイムで結果が更新されるため、臨場感のある投票となったため、生徒たちも積極的に取り組むことができた。